

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	全身麻酔後の声帯合併症の調査 (B21-205)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部麻酔学 教授 岡本浩詞
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の概要・背景・目的	<p>概要：2015年7月1日～2020年12月31日の期間の全身麻酔後に、嚔声、声帯麻痺、反回神経麻痺と診断された症例を電子カルテから抽出し、これらの合併症の頻度を後ろ向きに調査します。</p> <p>背景：2015年6月に新病院が開設される以前では麻酔記録は、記載内容は担当麻酔医本人に任されており、2015年以前の挿管に関する詳細を調べるのは困難でした。新病院開設以後、ORISの導入により、コンピューターで麻酔記録の記載を取り込むシステムとなったため、挿管チューブの固定位置を含め、挿管時の詳細が判るようになりました。</p> <p>目的：全身麻酔後に声帯合併症がどれくらいの頻度でどの術式に多く発症しているのか調べます。挿管後、挿管チューブは術者の指示がなければ右口角に固定します。その場合、右側声帯に負担がかかり、右声帯合併症の頻度を増加させる懸念があるため、右側と左側のどちらに合併症が多いのか調べます。</p>
調査データ 該当期間	2015年7月1日～2020年12月31日までの期間に当院で全身麻酔後に声帯合併症を発症した患者の情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に当院で全身麻酔を受け、声帯合併症が診断された方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2015年7月1日～2020年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録とORISの挿管に関する記載記録</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出</p>

さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：北里大学医学部麻酔科・講師

担当者：竹浪 民江（タケナミ タミエ）

電話：042-778-8616

備考